

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
2 5 6	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Maternal smoking, alcohol drinking, and febrile convulsion. 母親の喫煙、飲酒と子供の熱性痙攣の関係	
執筆者	
Vahidnia F, Eskenazi B, Jewell N.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Seizure. 2008 Jun;17(4):320-6.	
キーワード	
妊婦、喫煙、飲酒、子供、熱性痙攣	
要 旨	
<p>目的：            先行研究では妊娠中の母親の喫煙、飲酒は子供の熱性痙攣リスク増加を示唆した。本研究では母親の喫煙、飲酒と子供の熱性痙攣の関係、および相互関係について検討した。</p> <p>方法：            1959～1966年間に Child Health and Development Studies in California に参加した 10,108 人の妊婦を対象に妊娠中の生活習慣と子供の熱性痙攣について熱性痙攣発症後速やかにインタビューした。</p> <p>結果：            母親が喫煙と飲酒の両習慣がある場合、子供の熱性痙攣は 2.9%に起こり、喫煙のみの場合子供の熱性痙攣は 2.0%に、飲酒のみの場合は 1.5%、母親に両習慣がない場合 2.1%の子供に熱性痙攣が起こった。交絡因子による調整後、非喫煙非飲酒母親に比べて飲酒ないし喫煙の単一習慣を持つ母親では子供の熱性痙攣の増加はなかった。しかし、両習慣をもつ母親ではその子供の熱性痙攣にリスクが 30%増加していた(95%信頼区間=1.0, 1.9)。多変量解析によると喫煙と飲酒間に相互作用があった (p=0.02)。</p> <p>結論：            本研究の結果は妊娠中喫煙・飲酒の両習慣がある母親の場合その子の熱性痙攣のリスクが増加することを示唆している。</p>	